

かわごえ 議会だより

Kawagoe town council

令和5年3月定例会・5月臨時会

臨時会(議員紹介等)	2・3
町長施政方針	4・5
令和5年度予算・注目事業	6・7
議決結果・あらまし	8・9
モニターご意見	9
一般質問(9議員)	10~19
まちの元気な人・町の話 他	20

No.176

令和5年5月26日発行
三重県川越町議会

議案のあらまし・議決結果（全会一致）

区分	議案番号	議案名 あらまし	議決結果
補正予算 令和5年度	議案第26号	一般会計補正予算(第1号) 4,267万5千円を追加し、予算総額を73億167万5千円とする。	可決
条例改正等	議案第24号	専決処分について(川越町税条例の一部改正について) 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	承認
	議案第25号	専決処分について(川越町国民健康保険税条例の一部改正について) 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	承認
その他	議案第23号	監査委員の選任について	同意

議会議員職務分担表

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	稲塚利夫	森本恵幸	早川茂樹	杉本雅照	森英郎	片山庄平	松岡正敬	寺本由美	柳川平和	安藤邦晃	山下裕矢	寺本清春
議会運営委員会			○	○	委員長	○	副委員長	○			副議長	議長
総務建設常任委員会	○			委員長	○		○		副委員長			○
教育民生常任委員会		○	委員長			○		副委員長		○	○	
予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	副委員長	委員長	○	○	○	
決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	副委員長	委員長	○		○	
議会広報特別委員会	○	副委員長	○	○					委員長		○	
環境クリーンセンター	○		○	○								
朝明広域衛生組合						○			○			
三重郡老人福祉施設組合		○			○							
国民健康保険運営協議会委員							○	○				
監査委員										○		
都市計画審議会			○	○					○	○	○	○
下水道審議会			○	○					○			



第2回臨時会 議会役員を選出

令和5年第2回臨時会が5月2日に行われた。投票の結果、議長に寺本清春議員、副議長に山下裕矢議員をそれぞれ選出した。その後、監査委員、各常任委員、議会運営委員、予算特別委員、決算特別委員、議会広報特別委員、一部事務組合議員等を選出した。また、議案4件を審議し、全てを原案同意、承認、可決した。



副議長
山下 裕矢



議長
寺本 清春

就任のあいさつ
このたびの臨時会におきまして、私たちは、町議会の議長、副議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄であり、その重責を痛感いたしております。また、監査委員・各委員会の構成・部事務組合議会議員なども決まり、2年間の任期で新体制がスタートしました。私たちは、町民の皆さま



新議員
稲塚 利夫 議員



監査委員
安藤 邦晃 議員

の代表として、議会の使命である行政のチェック機能として、健全な行政運営の推進に努め、一層の信頼を得られるよう、議会運営を行い、職務の遂行に全力でまい進する所存です。今後、一層のご支援ご鞭撻を切にお願い申し上げます。まして就任の挨拶といたします。



森 英郎 議員



杉本 雅照 議員



早川 茂樹 議員



新議員
森本 恵幸 議員



柳川 平和 議員



寺本 由美 議員



松岡 正敬 議員



片山 庄平 議員



城田政幸 町長

町長としての任期の4年目を迎える令和5年度予算は、「これまで皆様からお寄せいただいた信頼と期待、その声を形にし、安心と笑顔を未来につなぐ集大成の予算」として編成。

5つの重点施策

重点施策1

「暮らしを守る安全なまちづくりの推進」

防災・減災対策

いきいきセンターの「非常用発電機等更新工事」として、非常用発電機の設置とともに、燃料用地下タンクを整備し、停電時においても、72時間の非常用電源を確保。

川越高等学校にLED照明やポータブルトイレ

など防災備蓄品の整備を行う。
現在、順次改修を行っている各地区公民館についても、非常時に必要となるポータブル電源を配備。
実際の災害を想定した「体験型避難所設営訓練」を実施。

重点施策2

「途切れない子育てと学びの推進」

「子ども医療費助成の受給対象年齢」の引き上げについて、令和5年4月診療分から対象年齢を18歳年度末までに拡大。
現在、保育所の施設面、保育士不足などから、入所できない子どものため、全ての子どもを受け入れられるよう、私立保育園との連携とともに、幼稚園の認定こども園化も視野に入れ、待機児童解消に努める。

中学校整備事業

令和9年度供用開始を、事業スケジュールを前倒し、令和8年度内の供用開始に向け、実施設計を進める。

進める。

また、校舎建設に先立ち、来年度マンホールトイレの設置工事を行う。
新たに「学力検定・受検支援事業」を開始。内容は、「実用英語技能検定」、「実用数学技能検定」の受験料を助成する事業。

重点施策3

「元気に活躍できる健康づくりの推進」

「带状疱疹ワクチン接種助成事業」を開始。
※50歳以上対象

重点施策4

「多様な主体による地域活動の推進」

地域活動、自治会活動の拠点である地区公民館の長寿命化改修事業については、「亀崎・亀須・上吉」の3地区の改修工事を行うとともに、「当新田・北福崎・高松・南福崎」の4地区の改修に向けた実施設計を、並行して進める。
ボランティア活動拠点施設については、現在、建

設に向けた準備を進め、令和6年度の供用開始に向け、来年度、建設工事に着手。

重点施策5

「スマート自治体の推進」

行政のデジタルサービスの窓口とも言える、町のホームページを見やすい、分かりやすいものへとリニューアルするとともに、セキュリティ面の強化を図る。

議会運営のデジタル化に向け、タブレット端末等の整備、行政側においても、業務の効率化とともにペーパーレス化を図るため、タブレット端末を導入。

「外国人の方へのアンケート」の調査結果を踏まえ、窓口業務等で利用する「相互翻訳アプリ」を導入し、外国人の方の相談対応、手続き支援を行う。

5つの基本方針

基本方針1

「安全で快適な暮らしができるまちづくり」

防災・消防・救急

いきいきセンターや各地区公民館など、停電時の避難所運営において必要となる電源の確保を進める。

亀須地区消防車庫を公民館敷地内に新たに建設。

交通安全・防犯

第2期防犯カメラ整備事業により設置台数が99台になり、自主防犯活動を推進するとともに、関係機関との連携を強化し、「地域の防犯力の向上」、「犯罪の起こりにくい環境づくり」に取り組む。

交通安全対策

カーブミラーの設置やカラー舗装など、必要な交通安全施設の整備、交通安全に関する啓発活動等により安全意識を高め「交通事故が起こりにくい環境づくり」を進める。

5つの基本方針



河川・海岸

河川堤防は、町民の生命・財産を守る「要」であり、流下能力の維持が重要であり、引き続き、堆積土砂や雑木撤去など適正な維持管理とともに、海岸堤防の耐震化工事の早期完成に向けて、関係機関に強く要望。

上下水道

川越排水機場の改修工事を行うとともに、水道事業においては、重要なライフラインである水道管の耐震化を計画的に進める。

環境共生

昨年12月から「川越町産CO₂フリーでんき」をふるさと納税の返礼品に追加し、広くPRしていく。

基本方針2

「便利で活気ある暮らしができるまちづくり」

市街地・住環境

適切な都市機能の規制・誘導により、魅力ある市街地を維持。

空家対策

「空家等対策計画」に沿って、必要な対策を検討

し、実施。

道路・交通

町内の移動手段である「ふれあいバス」について、デマンドタクシーの実証実験を行い、利用者ニーズや実装に向けた課題の把握を行い、当町の実情に応じた地域公共交通ネットワークの形成に取り組む。

産業・農業

担い手の確保に努めるとともに、用排水路等の農業用施設の整備を行う。

商工業

地場産業の持続的発展は、まちの成長を支える重要な基盤であり、朝明商工会とも連携し、企業活動が停滞することなく、成長・発展できるように支援を行う。

基本方針3

「支え合いで安心な暮らしができるまちづくり」

保健・医療

相談・支援を行う「伴走型相談支援事業」と、経済面での支援を行う「出産・子育て応援給付金事業」を実施。

疾病予防

「带状疱疹ワクチン接種助成事業」について、十分な周知と丁寧な説明により、接種しやすい環境づくりを進める。

健診事業

広報紙や行政番組などでしっかりと啓発を行い、健康づくり団体とも連携しながら、受診率の向上に取り組む。

子育て支援

令和5年4月診療分から「子ども医療費助成の受給対象年齢」を18歳年度末までに拡大。
保育人材の確保などを進めるとともに、来年度から、保護者の声に応え、保育所での「紙おむつ回収事業」を開始。

地域福祉・高齢者福祉

ボランティア活動拠点の整備を進めるとともに、地域福祉・高齢者福祉活動の更なる活性化に取り組む。

障害者福祉

現在、令和6年度からの計画となる「障害者計画」等の策定を進める。

基本方針4

「人を育み心豊かな暮らしができるまちづくり」

学校教育

「学力検定・受検支援事業」を実施。

生涯学習

「あいあいホール」の大規模改修が完了し、自主公演事業等も再開し、当町の文化活動の拠点として、より多くの方にご利用いただけるよう取り組む。

人権尊重・共生

「多文化共生社会実態調査事業」を含め、人権啓発活動や男女共同参画推進事業等を通じて、年齢や性別、国籍などに関わらず、お互いを認め合い、尊重し、多様性が受け入れられる地域づくりに取り組む。

基本方針5

「協働と信頼のまちづくり」

地域活動

各地区公民館の長寿命化に向けた改修を計画的に進め、地域の課題解決に向けた自主的な活動の支援として、引き続き、

「まちづくり活動団体助成事業」を実施。

広報・広聴

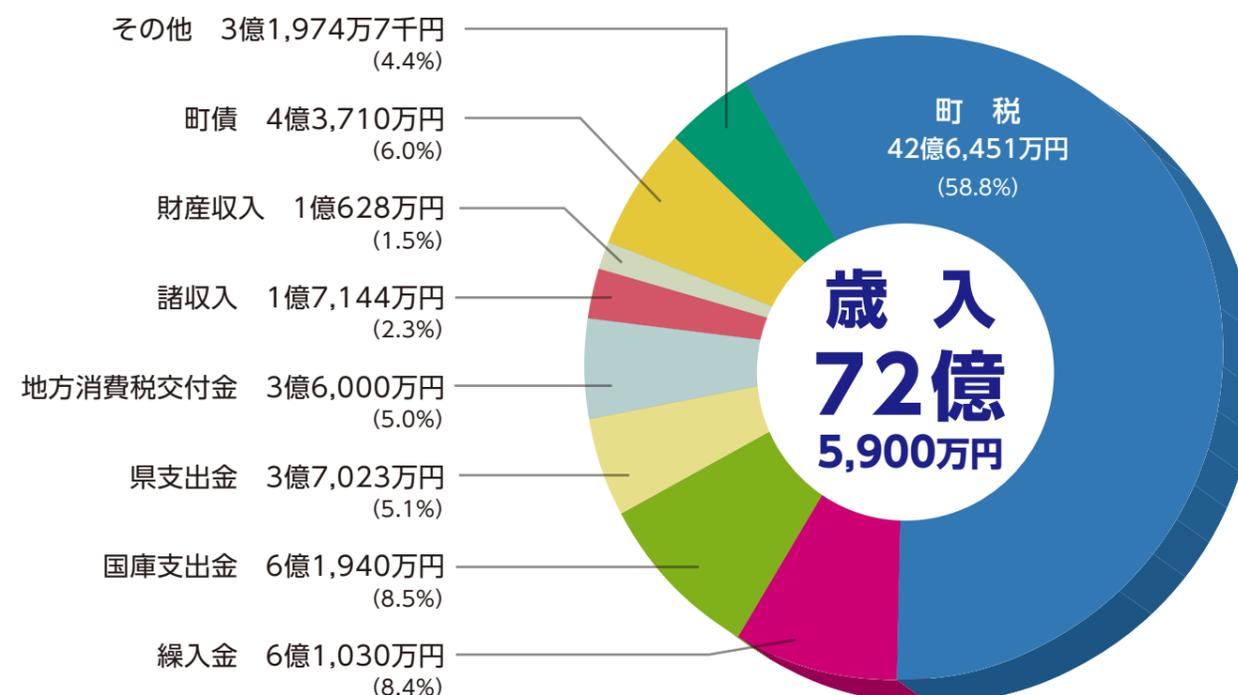
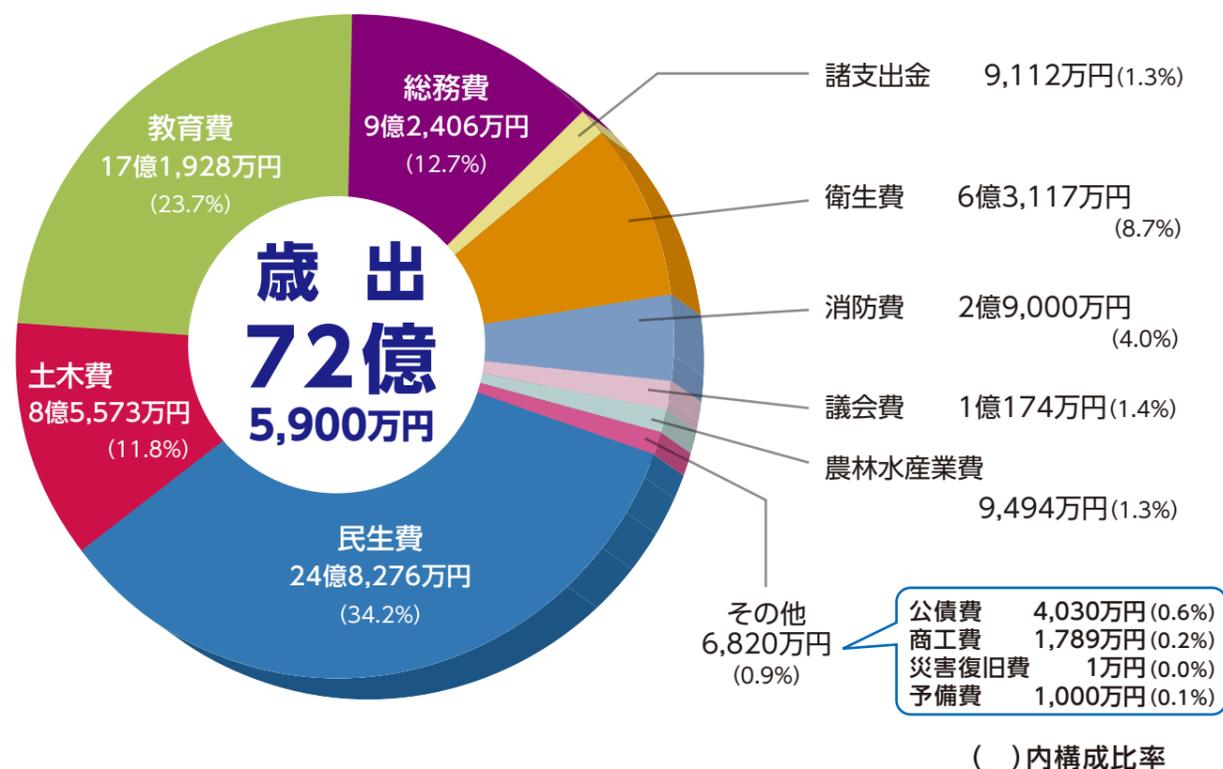
行政情報については、広報紙、ホームページ、ケーブルテレビ、メール配信など、町民の皆様が自分のライフスタイルに合わせて利用できる環境を維持するとともに、スマートフォンの普及や若い世代のニーズに合わせた行政情報の発信に取り組んでいく。

行財政運営

地区公民館の改修や中学校の建て替えなど、公施設維持・更新費用は今後も増加することを見込んでおり、現在の行政サービスを維持し、より充実させるためには、既存事業においても、客観的な効果検証が必要であり、廃止を含めた、事業の見直し・改善とともに、新たな課題を解決する事業の立案など、真に必要な事業、効果のある事業に予算を配分し、安定的な行財政運営を行う。

令和5年度 一般会計予算決まる！

その他の内訳	
地方譲与税	5,258万円 (0.7%)
分担金及び負担金	4,611万円 (0.6%)
利子割交付金	190万円 (0.0%)
配当割交付金	1,100万円 (0.2%)
株式等譲渡所得割交付金	1,000万円 (0.2%)
法人事業税交付金	3,000万円 (0.4%)
環境性能割交付金	470万円 (0.1%)
地方特例交付金	1,600万円 (0.2%)
地方公付税	500万円 (0.1%)
交通安全対策特別交付金	175万円 (0.0%)
使用料及び手数料	3,480万円 (0.5%)
寄附金	3,090万円 (0.4%)
繰越金	7,500万円 (1.0%)



令和5年度 注目事業

- 〈地区公民館長寿命化改修事業〉** **5億4,929万円**
 ・工事は亀崎・亀須・上吉の3地区、設計は当新田・北福崎・高松・南福崎の4地区
- 〈带状疱疹ワクチン接種助成事業〉** **154万円**
 ・50歳以上が対象
- 〈子ども医療費助成制度〉** **8,905万円**
 ・18歳まで拡大

- 〈ボランティア拠点施設建設事業〉** **1億6,637万円**
- 〈学力検定・受検支援事業〉** **19万円**
 ・半額助成
- 〈ふるさと納税(歳入)〉** **3,090万円**

区分	議案番号	議案名 あ ら ま し	付託先	議決結果
条例改正等	議案第18号	川越町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	教	可決
	議案第19号	川越町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	教	可決
	議案第20号	川越町国民健康保険条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	教	可決
	議案第21号	川越町国民健康保険税条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	教	可決
	議案第22号	川越町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	総	可決
その他	発議第1号	川越町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	即	可決
報告	報告第1号	例月出納検査の結果報告について 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・公共下水道事業特別会計・水道事業会計 令和4年11月分・12月分・令和5年1月分	-	-
	報告第2号	定期監査の結果報告について	-	-
	報告第3号	議員派遣の報告について	-	-

モニターの皆様からの ご意見

議会だよりモニターの皆様
さまからいただいた第17
5号に対するアンケート調
査の結果をご紹介します。

- ・パンチ穴が顔にあるのはあまり気分が良くなかった。
- ↓今後注意いたします。
- ・この各議員の一般質問のページが1番しっかり読みます。問と答が分かりやすく書かれていて読みやすい。内容も知りたいことが多い。
- ↓私たちとしても特にこのページを読んでもいただきたいので大変嬉しいです。

モニターの皆様
ありがとうございました。

皆さんの力で議会だよりをより良いものに 議会だよりモニター募集

議会広報特別委員会では、「議会だより」に関して、町民の皆さんからの意見や感想などを幅広くお聴きするため、「議会だよりモニター」を募集します。

- 内容
「議会だより」に対するアンケートの提出
- モニター会議への出席(年2回程度)
- 任期
令和5年8月1日～令和6年3月31日
- 申し込み方法
町ホームページまたは議会事務局(役場4階)にある専用の申込用紙によりお申込みください。
- 電子申請はこちらから ↓
- 締め切り
令和5年6月30日(金)午後5時15分(必着)
- その他
モニターは、年齢や性別、居住地域などを考慮し選考いたします。
選考結果は通知しますが、選考内容の公表は行いません。
若干の謝礼があります。



第1回 3月定例会

令和5年第1回定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で行われた。初日は、9人の議員が町長、教育長に対して一般質問を行い、続いて町長より議案21件の提案及び議員発議1件があり、審議後、1件を原案可決した。議案21件は、各委員会に付託され、審査することとなった。
最終日には、各委員会に付託された案件を全て原案可決した。

議案のあらまし(全会一致)

※付託先欄 総…総務建設常任委員会 教…教育民生常任委員会 予…予算特別委員会 即…本会議即決

区分	議案番号	議案名 あ ら ま し	付託先	議決結果
令和5年度 予算	議案第7号	一般会計予算 予算総額は72億5,900万円。	予	可決
	議案第8号	国民健康保険特別会計予算 事業勘定の予算総額は11億8,760万円。 診療施設勘定の予算総額は1億4,660万円。	予	可決
	議案第9号	介護保険特別会計予算 予算総額は8億5,250万円。	予	可決
	議案第10号	後期高齢者医療特別会計予算 予算総額は1億8,810万円。	予	可決
	議案第11号	水道事業会計予算	予	可決
	議案第12号	公共下水道事業会計予算	予	可決
	令和4年度 補正予算	議案第2号	一般会計補正予算(第6号) 3億4,323万7千円を追加、予算総額を82億3,755万3千円とする。	総・教
議案第3号		国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 事業勘定において6,748万4千円を追加、予算総額を12億4,989万1千円とする。 診療施設勘定において294万2千円を減額し、予算総額を1億4,344万6千円とする。	教	可決
議案第4号		介護保険特別会計補正予算(第3号) 3,161万9千円を追加、予算総額を8億7,556万4千円とする。	教	可決
議案第5号		後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 93万8千円を追加、予算総額を1億8,253万8千円とする。	教	可決
議案第6号		公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 1,933万6千円を減額し、予算総額を8億7,401万6千円とする。	総	可決
条例改正等		議案第13号	川越町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	総
	議案第14号	川越町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	総	可決
	議案第15号	川越町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の制定を行うもの。	総	可決
	議案第16号	川越町電源立地促進対策交付金事業維持基金条例の廃止について 基金の設置目的に沿って全額を取り崩し、その役割を終えることから条例を廃止するもの。	総	可決
	議案第17号	川越町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	教	可決

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応(後遺症)について町の所見は



県に新型コロナウイルスワクチン副反応相談窓口が用意され、24時間体制で対応できる(町長)

再 19件の相談の中で重い症状の人はいたか。
答 健康推進課長 1件あった。現在、健康被害の申請をされ、国の認定審査会の結果を待っている状況である。

問 副反応を疑う症状がでた人に対し町独自の支援対策等の考えは。
答 町長 国の認定審査会で認定されると、医療費等が給付されることから、町独自の補助等は考えていない。

問 町ではコロナワクチン副反応に特化した窓口は開設していないが、健康推進課において、保健師や看護師が副反応の相談に随時応じている。これまでの相談件数は19件あった。
答 町長 これまで2万5千人接種を受けた人の中で99人、副反応の訴えがあった。症状は、めまいや動悸、血圧の低下による気分不良が主で、接種を担当した医師に診察してもらい、全員症状も改善した。

問 コロナワクチン接種後、副反応についての相談窓口が町にあるか、また相談に来られた人はいるか。
答 町長 町では2万5千人接種を受けた人の中で99人、副反応の訴えがあった。症状は、めまいや動悸、血圧の低下による気分不良が主で、接種を担当した医師に診察してもらい、全員症状も改善した。

問 町での集団接種直後の副反応があった件数や症状、その後の状況は。
答 町長 これまで2万5千人接種を受けた人の中で99人、副反応の訴えがあった。症状は、めまいや動悸、血圧の低下による気分不良が主で、接種を担当した医師に診察してもらい、全員症状も改善した。

- 休日応急診療所 (四日市応急診療所)
Tel.059-353-1759
診療時間：日曜日・祝日 10~12時、13~16時
- 救急医療情報センター (コールセンター)
受信可能な医療機関を案内してくれます。
Tel.059-229-1199 ※24時間・365日受付
- 新型コロナウイルスワクチン副反応相談窓口
Tel.059-224-3326
※24時間・英、中、韓、ポルトガル、スペイン語対応

当町にスケートボードパークの設置を

現時点では、スケートボード場を整備するのは難しい(町長)

再 当町のスケートボード愛好者の人数を把握しているか。
答 生涯学習課長

問 東京オリンピックでスケートボードが正式種目となり、日本人選手が大活躍したこともあり、スケートボード愛好者が急増した。しかしながら、近辺に練習場所が無いため大変困っている。当町に子どもから大人まで楽しめるスケートボードパークを設置しては。
答 町長 スケートボードパークを整備するには用地の確保や施設の安全管理や事故などの救急対応に加え、騒音防止等の配慮が必要となるなどの課題があり、現時点では、整備するのは難しいと考えている。

再 北部浄化センターと堤防道路との間の張りコンクリートがある場所でスケートボードで遊んでいるのを見かけるが、非常に危険である。安全対策は。
答 町長 スケートボードのクラブや愛好会を認めていないため、把握していない。



北部浄化センター西側の堤防道路

再 この町有地への侵入をできなくすることも含め安全対策について検討する。
答 生涯学習課長

3月定例会一般質問

※一般質問とは…町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告・説明を求め町政運営が適切かチェックするもの

9人の議員

ここが聞きたい

- 安藤 邦晃 議員11
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応(後遺症)について町の所見は
 - ・当町にスケートボードパークの設置を
- 早川 茂樹 議員12
 - ・当町職員に対する人事評価制度は
- 森 英郎 議員13
 - ・当町の小中学生の体力調査の現状は
 - ・あいあいホールイベントのホームページ掲載の現状は
- 山下 裕矢 議員14
 - ・県が行う河川工事における町のバックアップ体制は
 - ・兄弟別々に通う保育所の対策は
- 杉本 雅照 議員15
 - ・非常用電源の対策は
- 柳川 平和 議員16
 - ・当町の10年後のビジョンは
 - ・軽救急車の朝川分署への配置は
- 松岡 正敬 議員17
 - ・駅前通りの街灯は
 - ・区の再編は
 - ・選挙運動用ポスター掲示板は
 - ・水道料金の減免は
- 寺本 由美 議員18
 - ・保育士の待遇改善と待機児童対策を
 - ・小中学校でのプログラミング学習は
- 片山庄 平 議員19
 - ・水道施設の維持管理及び耐震性は

議会録画映像の配信を開始しました。各議員の一般質問へはそれぞれのQRコードから映像へジャンプできます。または、町ホームページより議会>議会映像インターネット配信へお進みください。

映像配信トップ



当町の小中学生の体力調査の現状は

全国平均値と比較すると、小学校男子は1.78、女子は3.18ポイント上回った。中学生は、男子は0.62ポイント下回り、女子は0.71ポイント上回っている(教育長)



体力合計点で全国平均値と比較すると、小学生男子は1.78、女子は3.18ポイント上回っており、種目別では、男女ともに握力、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走は全国平均値を上回る結果となり、長座体前屈、立ち幅跳び、ソフトボール投げについては下回っている。中学生男子は0.62ポイント下回り、女子は0.71

答 教育長

問 本年度の全国体力調査の結果、各種目の成績を点数化した県内の「体力合計点」は小中ともに昨年度から低下。小学生が全国平均を下回り、中学生は男女とも全国平均を上回った。ところが、当町の小中学生の体力調査の現状と対策は。

ポイント上回っている。種目別では、男女ともに反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げで全国平均を上回り、加えて女子は、上体起こしも上回る結果になった。握力、長座体前屈、持久走は男女ともに下回っている。体力づくりの対策は、三重県教育委員会からの支持をもとに全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から児童生徒の現状を把握し「みえの子ども元気アップシート」を各校で作成し、1学校1運動の取り組みを進めている。当町としては、学力向上と同時に、体力の向上にも力を入れている。

あいあいホールイベントのホームページ掲載の現状は

クラシックホールのような音響性能を多くの方に体感していただけるように情報発信を進めていく(教育長)



改修後のあいあいホール

問 あいあいホールに関してクラシック音楽家の間では音響が良くパランスの取れたホールだと知られているが、イベントに関しては自主公演のイベントしかホームページに掲載がなく、もっと身近に、もっと人々の生活の中に音楽を届ける為にも自主公演以外の演奏会をホームページに掲載できないか。

答 教育長

あいあいホールは、耐震性向上のための客席ホールの天井改

修をはじめ、バリアフリー化や老朽化した設備の更新等を行い、今まで以上に安全・安心で快適に活用できる施設へとリニューアルした。このような中で、現状として主催者が希望された場合、ホール掲示板への催事案内の掲示や、教育センターでのポスターやチラシの設置等、自主事業以外の催事の周知を図っている。



ホールのロビー

当町職員に対する人事評価制度は

今後も人材育成の一端となる本制度に注力していく(町長)



問 「実施要領を作成し、職員に周知している」とあったが、その実施要領はどのように周知しているのか。

答 町長

人事評価制度における実施要領を作成し、職員への周知を行っている。透明性を図っている。そして、評価は、被評価者の職務により評価者を分け、一次評価者と二次評価者の2段階で評価を行っている。

問 ずっと暮らしたい町を実現するためには、町職員の個々のパフォーマンス向上が必要不可欠である。一次評価者の評価の基準や考え方、方法が違っていると不公平が生じて人事評価制度が機能しないことにつながる。公平性の担保はどのように行っているのか。

答 町長

職員が利用している掲示板やメール等を利用するグループウェアシステムで確認できるようにしている。※庁内情報共有システム

答 町長

評価期間は年度を単位としており、5月中旬までが一次評価者との面談により当該年度の計画や目標等を設定する期首面談期間となっている。そして、3月末には、被評価者の自己評価に基づき、アドバイスや指導等の面談を行う期末面談を行っている。

問 人事評価のタ イミングはいつ行われているか。

答 町長

再 年に1回の面談では、仕事の進捗確認が出来ず、適正な指導ができないのではないかと。少なくとも半期に一度、できたなら四半期ごとに面談の機会があった方がよいのではないか。

答 総務課長

先進事例等も参考に、今後より検討を深め、必要があれば制度の見直しも行っていく。

問 人事評価がしっかりと処遇に反映されているか。

答 町長

管理職手当支給対象者については、期末手当及び勤勉手当について、評価の成績により支給率を定めている。

再 一般職員の評価結果に関して反も、やはり処遇に反映すべきではないか。

答 総務課長

将来の導入に向けて、毎年研修を行い、先進市の事例を参考に検討していく。

問 評価者への研修は行われているのか。

答 町長

課長に昇格した者は、三重県市町総合事務組合が開催をしております評価者研修の受講している。また、毎年、町職員研修の一環として、評価者または被評価者を対象とした研修を行っている。今年度は被評価者を対象に、人事評価の目的や意義、そして、目標設定等の研修を実施する。

問 評価理由やプロセスはしっかりと説明できる体制になっているか。

答 町長

プロセスや発揮した能力、意欲にも着目し、評価者と被評価者による期末面談を行うことになっている。



人事面談のイメージ

非常用電源の対策は

非常用電源確保のため、令和5年度当初予算として計上している(町長)



問 令和3年6月に一般質問させていただきました。災害医療分野では生死を分けるタイムとして72時間の壁があり、非常用電源にも、72時間外部から供給なしで非常用電源を蓄動可能とする措置が望ましい」と言われている。また、当町においても、各地区には災害時の非常電源に発電機を配備しているが、故障や燃料の供給が途絶える場

合もあり、そういう場合でも、故障がほぼなく、騒音もなく、避難所となる公民館において、大規模な蓄電池や太陽光発電でなくても最低限の電源確保ができる容量のポータブル電源と充電に必要な折り畳めるソーラーパネルが有効であり、必要と思われるが、町の考えをお聞かせくださいとの質問に対して、今後、非常用電源の確保については、既存の発

答 町長

電機の併用や災害時の利便性、さらに、故障や騒音が少ないなどの方法も検討しながら、避難所生活に必要な電源確保を考えていきたい」との答弁であった。町長の施政方針の中にもあったが、その後の検討、考えは。

この3月議会において、非常用電源確保のための予算を令和5年度当初予算として計上しており、審議いただく予定である。内容としては、令和5年度から複数年かけて各地区公民館にポータブル蓄電池及び充電用ソーラーパネルの配備を考えている。ポータブル

蓄電池に関しては、情報収集用としての利用や、可搬性、代替性などを考慮し、2キロワット程度のものを複数台、各地区公民館に整備する予定である。また、照明器具用として、現在執行している地区公民館の長寿命化改修事業において、照明器具のLED化及び停電時用配線工

事を行うため、その施工年度に合わせて配備を考えている。



ポータブル蓄電池及び充電用ソーラーパネルの例

県が行う河川工事における町のバックアップ体制は

現在の取組みを継続しながら県と一緒に検討していきたい(町長)



問 知事と町長との円卓対話で、両河川の堤防補強と河川内土砂撤去並びに雑木伐採伐根についての話がなされた中、前向きに取り組みむとの回答であったが、町として今以上にバックアップできないか。

答 町長

朝明川では、河床掘削や掘削した土砂を町所有地で受け入れを行う、員弁川では、雑木の処分を行うなど、県が事業を円滑に進められるよう、地元自治会長や地権者との調整、並びに工事ヤードの借地調整など積極的にバックアップしてきたが、今後も工事ごとに来る限りの協力をしていきたい。

問 町からの提案型で工事にあたって共同してできるような案はあるのか。

答 産業建設課長

以前、チップ化したものを朝明川堤防の防

答 町長

雑木や堆積土砂の処分等の取組みは、町独自の取組みで事業を進めているところであり、他市町では行われていない取組みをしている中で、新たに提案していくものは、現在のところないが、参考になる事例があれば、町としても提案していきたい。

再 堆肥事業を

行っている機械を使ってチップにし公園での雑草対策にそのチップをまく等、使用できると思うが、また、堆積土砂についても川越インターの横に仮置きしているが、町内工事の埋め戻し材等に使用するなど、対策の一つとなるのでは。

兄弟別々に通う保育所の対策は

可能な限り入所調整を行い、まず、同じ園に通えるよう対応していきたい(町長)

問 現在、兄弟が別々の保育所に通っている家庭は、何世帯あるのか。

答 町長

2月末現在、5世帯4世帯については、新年度から調整により、同じ保育所に通うことになるが、残りの1世帯の方は、保護者の意向により、そのまま別々の保育所に通うことになっている。

問 同じ保育所に通うことはできないのか。

答 町長

新年度の入所については、可能な限り調整を行っているが、入園を希望する園では定員の超過、保育士の加配数を超過していたりする場合があり、保護者の方に説明し、止むを得ず兄弟異なる園での入

所決定を行っている。今後可能な限り、兄弟が同じ園に通えるよう対応していく。

再 別々の保育所に通うとなると送り迎えだけでも保護者に負担がかかったり、参観や運動会が、同日開催だったりすると、時間があぶったり大変だが対策は。

答 子ども家庭課長

兄弟別々の保育所に通われている保護者には、送り迎えや参観等について、ご不便やご負担をお掛けしているが、今後可能な限り入所調整を行い、まずは、兄弟が同じ園に通えるよう対応していきたい。

駅前通りの街灯が少ないが



個人所有の街路灯については、町として、撤去修繕は考えていない。(町長)

個人所有の街路灯については、町として、撤去修繕は考えていない。現状では個人の都合により、点灯していないところもある。防犯や交通安全のため、現地調査を行い、地元区長とも協議をしながら、危険と思われるところは、検討していく。

答 町長

川越富洲原の駅前通りは以前から、街灯が少なくなっており、看板等が消える、ほとんど暗い場所があります。駅から最寄りの横断歩道も暗い状態です。商店が保有していた街灯も、ほとんど点灯していませんが今後どのような計画になっていきますか。

区の再編について

自治区の総意が示されれば協議していく。(町長)

川越町には10区あり、令和5年1月1日現在で、豊田区は4,100人町人口の26%になります。また世帯数では28%になります。今後区の再編はどのように考えていますか。

答 町長

自治区がその活動を通じて、新たな課題に直面し、その課題解決に向け、再編や分区等、規模自体の議論が必要であるとの、総意が示されれば町として、自治区の認定等について検討、協議していく。

選挙運動用ポスター掲示板の設置場所について

町選挙管理委員会において、必要に応じて検討していく。(総務課長)

ポスター掲示板は各投票区に5カ所、計50カ所ですが、人通りの少ない場所がかなりあります。掲示場所の数は人口別で案分を追加するべきでは。

答 総務課長

強風時において破損等を考え、一部の場所を除き公共施設等を選定している。設置数は現状のままです。設置場所については、町選挙管理委員会において、必要に応じて、いい場所があれば検討していく。

水道料金の減免は

減免については、現在考えていない。(町長)

物価高の大幅な中、川越町として、もう一度水道料金の減免をしてはどうか。

答 町長

減免については、現在考えていない。

当町の10年後のビジョンは

広域交通ネットワークの供用が開始され、町を取り巻く環境は大きく変化する(町長)



リニア新幹線は10年後には供用開始し、それに合わせて四日市市では大きくインフラ整備がなされている。当町も東京の品川駅から1時間半の通勤圏内に入る。こうした大きな状況の変化にどのように対応していくのか。

答 町長

町の置かれている現状を見詰め、課題を解決するために総合計画の施策を着実に推進していく。

インフラ整備をしていくのか。

答 町長

築30年以上経過している公共施設が約4割強を占めて老朽化している。これらの施設の長寿命化が課題だ。インフラ施設の長寿命化を図る。

ハード面では堤防の強化をソフト面では自助、共助、公助がそれぞれの役割を果たして防災、減災対策を継続していく。

答 町長

新しい公共交通であるデマンド交通は、利用者が便利ないように運行してほしいが。

再

デマンド交通は、住民目線に立って利用しやすい公共交通にしていく。

答 副町長

市街化調整区域には、社会福祉施設、高齢者施設が建てられるようだ。太陽光発電とか資材置き場になる前に福祉施設を誘致して福祉の街にしては。

答 副町長

当町をスマートシティとして売り出していくには、市街化調整区域が発展の邪魔をしているのではないかと。町内には眼科、整形外科、小児科、歯科などが揃っている。民間活力を活用していくには市街化調整区域を逆に利用していくか。

答 企画情報課長

当町の市街化調整区域は、役場エリア、古川エリア、川越インターエリアの3箇所。長期的な視点で活用を計画していきたい。

軽救急車の朝川分署への配置は

現時点では困った事案はなく高規格救急車で対応できている。(町長)

民間のニーズを聞きながら県とも調整していきたい。

高齢者が増え命消防車が必要になってこないか。

再

高規格救急車で対応できている。

答

10年後、20年後には必要になってくることもあるかと思う。

再

四日市市でも当初は必要ないということだったが、1台入れたら使い勝手が良いのか結局各分署に1台ずつ3台配置されたがどうか。

答

将来的には必要になってくる可能性があるかもしれないので、話をしながら進めていく。

水道施設の維持管理及び耐震性は



改訂された水道施設耐震工法指針に沿って耐震診断を実施(町長)



埋縄第1配水タンク
タンク容量2,500m³

問 昨年9月に発生した台風15号の影響により静岡県では断水等大きな被害が発生。当町には朝明配水場と埋縄配水場があり災害時の非常用タンクとして重要な施設であると考え。水道施設の維持管理及び耐震性について朝明配水場や埋縄配水場に対する点検や維持管理をどのようにされているか。

答 町長 電気計装設備や緊急遮断弁の年次点検又自家発電機などの日常点検、残塩濃度や色度、濁度、配水流量や圧力、次亜塩素量の確認を行っている。



朝明配水場
タンク容量2,000m³

再 配水タンク本体の点検等を行っているのか。

答 上下水道課長 国から水道施設の点検を含む維持修繕の実施に関するガイドラインが策定されこれに沿って今後は点検を行い配水場の適切な維持管理に取り組む。

答 町長 配水場設計したコンサルタントによる耐震性があると聞いています。しかしながら水道施設耐震工法指針が改訂となり解析手法等が改訂されたことから朝明配水場、埋縄配水場の耐震診断を行い必要であれば修繕等の検討にも取り組む。



埋縄第2配水タンク
タンク容量1,500m³

保育士の待遇改善と待機児童対策を



認定こども園化を視野に検討を進める(町長)

問 全国的に保育士の離職理由に職場の人間関係や給料が安いと言われ、責任の重さや事故への不安、保護者との関係がむずかしいなどもある。保育士の待遇改善は。

答 町長 近隣市町より高い賃金を設定し処遇改善を図っている。業務負担軽減に保育用ICT業務支援システムを導入。また風通しの良い職場環境づくりに情報共有や研修を通じてサポート体制や連携を強化していく。

問 待機児童対策の進捗状況は。

答 町長 小規模保育の実施には、条件を満たす物件がなく、引き続き検討。保育士が確保できれば、南部保育所

育所で最大12人の園児を受け入れる。

問 幼稚園の空き教室と利用案は。

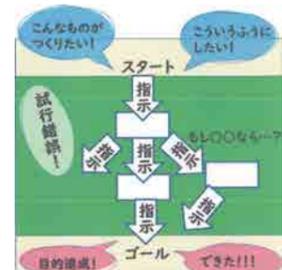
答 町長 空きは3教室。少人数学級の編成で、きめ細かな教育を実施。預かり保育を検討するが人材確保が課題。

問 中部保育所の建て直しや改修の考えは。

答 町長 川越町公共施設個別施設計画で、維持管理・部位修繕となっている。近い将来、幼稚園を認定こども園化にすることを視野に検討を進めていきたい。

小中学校でのプログラミング学習は

工夫と喜びを体験し施行の育成を目指す(教育長)



プログラミングの考え方

問 授業内容は。

答 教育長 小学校は中学年から一人一台のタブレット端末でプログラミングソフトを使い、プログラムを入力し工夫や喜びを経験させる授業。中学校は技術科の授業で選択肢により複数の条件を設定し、機械を動作・停止させる授業。

論理的に考えていく力の育成を目指す学習活動。

問 教員の負担は。

答 教育長 指導計画を作成し授業を行う必要がある。軽減のためにICT支援員の活用や地元企業による授業、研修会の実施など計画的・継続的に実施する。

問 プログラミング学習の目的は。

答 教育長 課題解決に向けて

答 教育長

企業が実施の資格試験でソフトを活用しスキルの測定や能力を証明認定するもの。紹介はするが受験の指導は考えていない。

問 ジュニアプログラミング検定試験までの指導は。

サポートボラ (ちよボラ)

制度の狭間にある、ちよっとした困りごとのある方のお手伝いができればと思ったことをきっかけに、私たちサポートボラの活動が始まりました。1人暮らしの高齢者が入院されているときの飼いの散歩や高齢者施設のお花見の付き添い等、些細なお手伝いをするうちに、「ちよこっとボランティア」を略した「ちよボラ」と呼ばれるようになりました。

コロナ禍には、新たにSDGsについて学び町内の清掃活動も始めました。今ではその輪が広がり、明治安田生命富田支店の方と共に活動しています。

私たちが全ての活動で大切にしているのは「人とのつながり」です。活動を通じて出会う方々とのおしゃべりも楽しいひとときです。できるときにできることを無理なくすることを心がけ、これからも続けていきます。ちよっとしたお手伝いの相談がある方、ちよっとしたお手伝いをしたい方、川越町ボランティアセンターへお気軽にお問い合わせください。

川越町
ボランティアセンター
TEL 365-0024



町の話

3月19日(日)に豊田地区で行われた自主防災隊の研修に参加しました。災害が起こった時、専門知識や機材を持たない町民の方々でも、自己防衛の意識を持ち、適切な行動を取ることができるよう、地域で自主的に組織された防災隊です。この取り組みは、地域の人々が自ら考え、行動することで、災害時の危険を減らすことができ、自治体や国の協力に頼ることができなく、地域が自らの力で災害対策を行うことができます。研修では、災害に対する基礎知識から、避難所の運営方法まで、様々なことが学べました。また、実際にロープを使った避難行動や、簡易担架の作り方、自家発電機の使い方や、車いすの操作方法なども学べました。これらの体験は、日常生活でも役立ち、自己防衛の意識を高めることにもつながります。自主防災隊は、地域の人々が協力し合い、災害に備えることで、安全な地域づくりにつながる素晴らしい取り組みだと感じました。



早川 茂樹(記)

編集後記

○現在のメンバーで最後の編集後記になります。2年間モニターの方々のご意見をお聞きしながら、より読みやすい、読んでいただける「議会だより」を目指して編集してきました。いかがでしたでしょうか。ご意見はうまいくかさされましたでしょうか。

○次回からは新しい編集委員になります。今までの成果を継承して次号から新しくスタートします。今後ともご期待ください。

編集委員一同(記)

お知らせ 令和5年 第2回 定例会予定

月	火	水	木	金	土	日
6/5	6	7 本会議 (開会)	8	9	10	11
12	13	14	15	16 本会議 (閉会)	17	18
総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会					

傍聴することで町政への知識を深め、町議会の活動方針を知ることができます。また、本会議当日は、役場1階ロビーのテレビにて、議会の模様をライブ配信しています。

町ホームページでは、過去の会議録(本会議のみ)が閲覧できます。また、録画映像の配信を始めましたのでご覧ください。